

令和7年度第4回岐阜県事業評価監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和7年10月29日（水）13：30～15：30

2. 場所：岐阜県庁 議会棟1階 第1会議室②

3. 出席委員

| | |
|-------------------------|------------|
| 岐阜大学 名誉教授 | 篠田 成郎 委員長 |
| 岐阜大学 教授 | 沢田 和秀 副委員長 |
| 岐阜大学 教授 | 三井 栄 |
| 岐阜県弁護士会 弁護士 | 池田 紀子 |
| 岐阜県森林組合連合会 常務理事 | 神原 和義 |
| 一般財団法人 岐阜県地域女性団体協議会 副会長 | 河野 美佐子 |
| 岐阜県商工会女性部連合会 副会長 | 吉田 澄子 |
| 公募 団体役員 | 波能 寿子 |
| 公募 無職 | 藤寄 眞起 |
| 公募 会社員 | 堀 朱実 |

4. 議事要旨署名委員の指名

委員長が議事要旨署名委員に藤寄委員、堀委員、三井委員を指名。

5. 議事

（1）再評価箇所の説明及び審議について

- 1) 広域河川改修事業、大規模特定河川事業「一級河川 杭瀬川」
- 2) 広域河川改修事業「一級河川 水門川」
- 3) 総合流域防災事業「一級河川 小里川」
- 4) 総合流域防災事業「一級河川 千旦林川」
- 5) 道路改築事業「(一) 屋井黒野線 見延・下西郷工区」
- 6) 道路改築事業「(主) 可児金山線 飯高2・3工区」

（2）令和7年度再評価審議箇所の変更について

（3）令和7年度事業評価監視委員会の開催計画の変更について

6. 議事要旨

(1) 再評価箇所の説明及び審議について

1) 広域河川改修事業、大規模特定河川事業〔事業主体：岐阜県〕

「一級河川 杭瀬川」

説明者：河川課 池田課長

【審 議】

| | |
|--------|---|
| 沢田副委員長 | 洪水の計画規模を「5年に1度」としているが、近年の降雨はより激しくなっている。10年、20年に1度の規模となった場合、本事業の効果はどのように捉えるべきか |
| 説明者 | 計画規模を超える洪水の場合、浸水被害は解消されないが、整備により川を流せる流量が増加し、浸水が軽減すると考えられる。 |
| 神原委員 | 昨年8月の浸水面積が過去より大きいが、日雨量には大きな差が無い。時間当たりの雨量が関係しているのか。 |
| 説明者 | 令和6年8月の台風10号では、近傍の赤坂雨量観測所において3時間雨量が200年に1度、24時間雨量が20年に1度の規模であり、短時間としては非常に激しい雨が降った。これにより、堤防が低い地域等での外水氾濫や内水氾濫による被害が発生していることが水害に関わる検証により明らかになっている。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

2) 広域河川改修事業〔事業主体：岐阜県〕

「一級河川 水門川」

説明者：河川課 池田課長

【審 議】

| | |
|-------|---|
| 池田委員 | 事業が長期化している要因は何か。 |
| 説明者 | 市街地を流下する河川であり、河道改修で拡幅するための土地の確保や工事の調整に時間を要している。 |
| 池田委員 | 土地の収用を行っているのか。 |
| 説明者 | 土地収用法に基づく手続きに至った事例はないが、河川改修のための用地の確保にあたっては、地権者の協力を得るために丁寧な対応が必要となる。 |
| 池田委員 | 事業継続には賛成だが、事業期間中に複数回の浸水被害が発生しているため、早期完成に向けて取り組んでほしい。 |
| 篠田委員長 | 放水路を先行して整備することで、全体のリスクを低減できると思われるが、方針や見通しはあるか。 |

| | |
|-------|--|
| 説明者 | 放水路の整備は河川整備計画に位置付けており、令和 20 年度までに工事を完了する見通しとしている。 |
| 篠田委員長 | 河道拡幅による水深低下がナガエミクリの生息環境に影響する可能性があるが、どのように対応するのか。 |
| 説明者 | 工事実施時の配慮として一部移植等を行い、保全を図っている。平常時は定期的な河川巡視、工事前は環境調査を実施している。 |
| 篠田委員長 | 費用対効果について、水門川では効果額が増加している一方、杭瀬川では減少している。原因は何か。 |
| 説明者 | 水門川では、令和 2 年度と比較すると家屋の延床面積は減少しているものの、資産単価の上昇の影響が大きく一般資産被害額が増加した。なお、公共土木施設等被害は一般資産被害額に伴い増加する算出方法となっている。これらの結果として効果額全体として増加したもの。 |
| 篠田委員長 | 杭瀬川では延べ床面積が減少したということか。 |
| 説明者 | そのとおり。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

3) 総合流域防災事業〔事業主体：岐阜県〕

「一級河川 小里川」

説明者：河川課 池田課長

【審 議】

| | |
|--------|---|
| 沢田副委員長 | 河道内に石を残す場合、洪水で流されて悪影響を及ぼすことはないか。 |
| 説明者 | 通常の洪水では流されないような石を選定し、配置している。 |
| 神原委員 | 整備区間は山間部も流れているのか。 過去に恵南地区で大災害があり、その時は川が閉塞するといった被害があったが、この河川ではどうか。 |
| 説明者 | 山間部を流れる区間もある。 このエリアの土砂対策について把握できていないが、治水対策を進めるうえでは土砂の供給状況等といった視点も含めて事業を進めていく必要がある。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

4) 総合流域防災事業〔事業主体：岐阜県〕

「一級河川 千旦林川」

説明者：河川課 池田課長

【審 議】

| | |
|------|---|
| 池田委員 | 過去の実績では 20 年に 1 度の規模の出水で 25 戸が浸水した記録はないが、どのように算出しているのか。 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 説明者 | 氾濫シミュレーションで用いる降雨は過去の浸水被害時の雨の降り方と揃えているわけではないため、浸水被害の状況も異なる。 |
| 池田委員 | 本事業に限らず、事業評価に際して現状の課題や既存課題の解決事例などを対応方針や説明を盛り込めるとよい。 |
| 説明者 | 事務局と相談しながら進めていく。 本事業については、リニアの進捗状況にも注視しながら対応していく。 |
| 事務局 | 対応方針への課題や解決事例の記載については、検討を行う。 事後評価では、今後の事業に活かせる取り組み事例を説明していく。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

5) 道路改築事業〔事業主体：岐阜県〕

「(一) 屋井黒野線 見延・下西郷工区」

説明者：道路建設課 荻田課長

【審 議】

| | |
|-------|---|
| 神原委員 | 工期を延長した理由は何か。 本巢 IC の開通により交通量はどの程度増加したのか。 |
| 説明者 | 歩行者横断施設の追加に伴い、設計・施工期間の延長が必要となった。 東海環状自動車道の交通量は開通前と比較し約 2～2.5 倍に増加している。 |
| 篠田委員長 | 進捗率に岐阜市の未整備分は含まれるのか。 |
| 説明者 | 含まれていない。県の整備区間のみの進捗率である。 |
| 篠田委員長 | 進捗が遅れているわけではないが、進みにくい要因はあるか。 |
| 説明者 | 特段の要因は無いが、地元説明を丁寧に進めているため、時間を要している。早期完成に向けて進めていく。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

6) 道路改築事業〔事業主体：岐阜県〕

「(主) 可児金山線 飯高 2・3 工区」

説明者：道路建設課 荻田課長

【審 議】

| | |
|-----|--|
| 堀委員 | ネコギギの調査を 5 箇所で行っているが、工事区間のどのあたりか。 |
| 説明者 | 絶滅危惧種であるため、詳細な位置は公表できないが、工事区間周辺で確認されている。 |
| 堀委員 | 令和 4 年度の調査箇所 1～3 で個体数が記載されていないが、調査は実施されなかったのか。 |
| 説明者 | 調査箇所 1～3 は、すでに工事が完了した 1 工区に該当するため、調査対象から除外した。 |

| | |
|-------|--|
| 波能委員 | 環境へ配慮した工事の具体的な内容は。 |
| 説明者 | 工事前に上下流への移植や、濁水をろ過するなどの対策を講じている。 |
| 篠田委員長 | トンネル整備や雨量規制値の引き上げにより国道 41 号の雨量規制区間が解消されると、迂回路としての事業目的が薄れる可能性がある。早期完成に向けた工夫や方針はあるか。 |
| 説明者 | 2 工区と 3 工区を並行して進めることで、進捗率の向上を図る。 |

【審議結果】事業主体の対応方針（案）「継続」を了承する。

【その他共通事項】

事業推進に当たっての課題等の説明について、事務局と委員長で方針を検討する。

（２）令和 7 年度再評価審議箇所の変更について

事務局より令和 7 年度再評価審議箇所の変更について説明。

【質疑・意見】

特になし。

【審議結果】

以下の箇所を令和 7 年度再評価審議箇所より削除する。

・道路改築事業【事業主体：岐阜県（道路建設課）】

「一般国道 国道 303 号 西横山バイパス」

以下の箇所を令和 7 年度再評価審議箇所に追加する。

・河川総合開発事業【事業主体：岐阜県（河川課）】

「一級河川 亀尾島川 内ヶ谷ダム」

（３）令和 7 年度事業評価監視委員会開催計画の変更について

事務局より令和 7 年度事業評価監視委員会開催計画の変更について説明。

【質疑・意見】

特になし。

【審議結果】

以下の日程で委員会を開催する。

| 回 | 開催日時 | 開催場所 | 議事内容（予定） |
|-------|--------------------|-----------------------------|---|
| 第 4 回 | 10 月 29 日（水） 午後 | 岐阜県庁 議会棟 1 階 第 1 会議室② | ○再評価の審議 ・河川事業（河川課 4 件） ・道路事業（道路建設課 2 件） |

| | | | |
|-------------|-----------------|--------------------------|--|
| 第 5 回 | 11月26日（水） 午後 | 岐阜県庁 議会棟 1階 第1会議室② | <p>○再評価の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業農村整備事業（農地整備課 1件） ・水道事業（水道企業課 1件） ・河川事業（河川課 2件） <p>○事後評価の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業農村整備事業（農地整備課 1件） ・林道事業（森林経営課 1件） |
| 第 6 回 | 1月以降 後日決定 | 後日決定 | <p>○事後評価の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路事業（都市整備課 1件） ・砂防事業（砂防課 1件） ・道路事業（道路建設課 1件） ・治山事業（森林保全課 1件） <p>○社会資本総合整備計画評価の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事業（道路建設課 1件） ・道路事業（道路維持課 2件） ・下水道事業（下水道課 1件） |

（以上）